

## 1. 意見

天塩川上流域では降雪量の不足、春から夏にかけての極端な少雨により、夏場におけるかんがい用水が安定的に確保される見込みは、湯水川地域の大規模な問題と存じます。岩尾内ダムでは洪水調節が支障を及ぼさない範囲で放流する弾力的な管理試験を行っているようですが、北海道では本州のように長い梅雨がないことから、ダムの操作基準の見直しを図るなど、恒久的な対策が必要と考えますので、是非ともこの整備計画の中で、こうした湯水時の対策が講じられることを期待しております。